

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名 グループホーム 美和

日付 平成18年3月31日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験11年
評価調査員 老人保健施設介護実務経験5年、居宅
支援事業所介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る (まだリンク先はありません)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

外部評価の結果

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

職員の伴奏で大きな声で歌を歌っている。笑顔、笑い声、手拍子などで楽しそうな雰囲気、木曾節、炭坑節他レパートリーは多い。木曾節は思い入れのある利用者がいて、ひときわ声が大きくなり、最高潮に盛り上がっている。ひとときり歌うと、さあご飯の準備、「今日は何かな」とカウンター越しに覗いて昼食のメニューが気になるし、毎度の食事を楽しみにしている。出来る人は配膳を「あそこに・・・が足りないよ」といいながら、行っている。最後に箸が配られて皆で「いただきます」。

年賀状と暑中見舞いは利用者が家族に宛てて書いている。

野菜を植えたり、収穫したり、栗を拾う、柿は皮を剥いてつるし柿に、蕨を採りに行ったり、よもぎ餅を作ったり、いままでよくしていたことが出来る豊富な自然環境、四季折々が肌で感じられる環境がある。

特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした

家族に対しての定期的な情報「たより」を今後の課題として取り組んで欲しい。
開設1年未満で管理者は職員に認知症の関わり方など細部にわたり気を配り、教えてもらっています。その都度話し合いは持たれているが、記録に残す事により職員全体にケアの色々な事が共有できて、前向きにチームケアに取り組めるようになるのではないだろうか。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 築100年以上経過しているという造り酒屋の母屋を改装して出来たグループホームである。まだ1年未満だが、稲を作り、野菜を作り、食にはこだわりを持って、好みの料理、馴染みの料理を献立に取り入れている。利用者も食事に関しては興味を持って、楽しみにしている。利用者同士が家族のような関わりを持って、安心して暮らせるように支援すること、地域社会への貢献を目指している。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 趣のある門扉を入り、玄関までのアプローチは花の寄せ植えが並び、鯉の泳いでいる庭園が広がっている。中に入ると太い梁、客間の立派な床柱、風情ある障子、客間の回り縁からの眺望がまた良い。その庭園は四季折々の情景を感じさせてくれる。これから皷月が咲くととてもきれいになるそうです。 田んぼや畑もあり、稲や野菜を植え、収穫して、栗や柿も収穫して楽しんでいる。「暖かくなると、よもぎを採って蓬もちを作ろうか」と話は明日に向かって進んでいる。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 今までの生活歴を知る事によりその人が自分の力を十分に発揮出来ることを見つけた活躍の場を設けている。 蒜山から来ている人は野菜作りの先生で、畑から新鮮な野菜を採ってきては食卓を賑わせている。もうすぐ職員に色々な所に連れて行ってもらえるのを楽しみにしている。 また利用者を民謡で盛り立て、宴会のような楽しい時間を作っている人がいて、皆の手拍子と笑い声は心地良いものを感じさせる。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 開所して1年未満であり、職員が経験のない人もいて、管理者は認知症についての教育から、利用者への気配りや利用者の思いを如何に察知するか等、一つ一つ理解と経験を積み重ねていこうと職員と共に努力している。その努力を書面に残し、職員全員が自分のものとして共有していける形を残していく事が、ワンランク上に繋がっていくのではなからうか。		